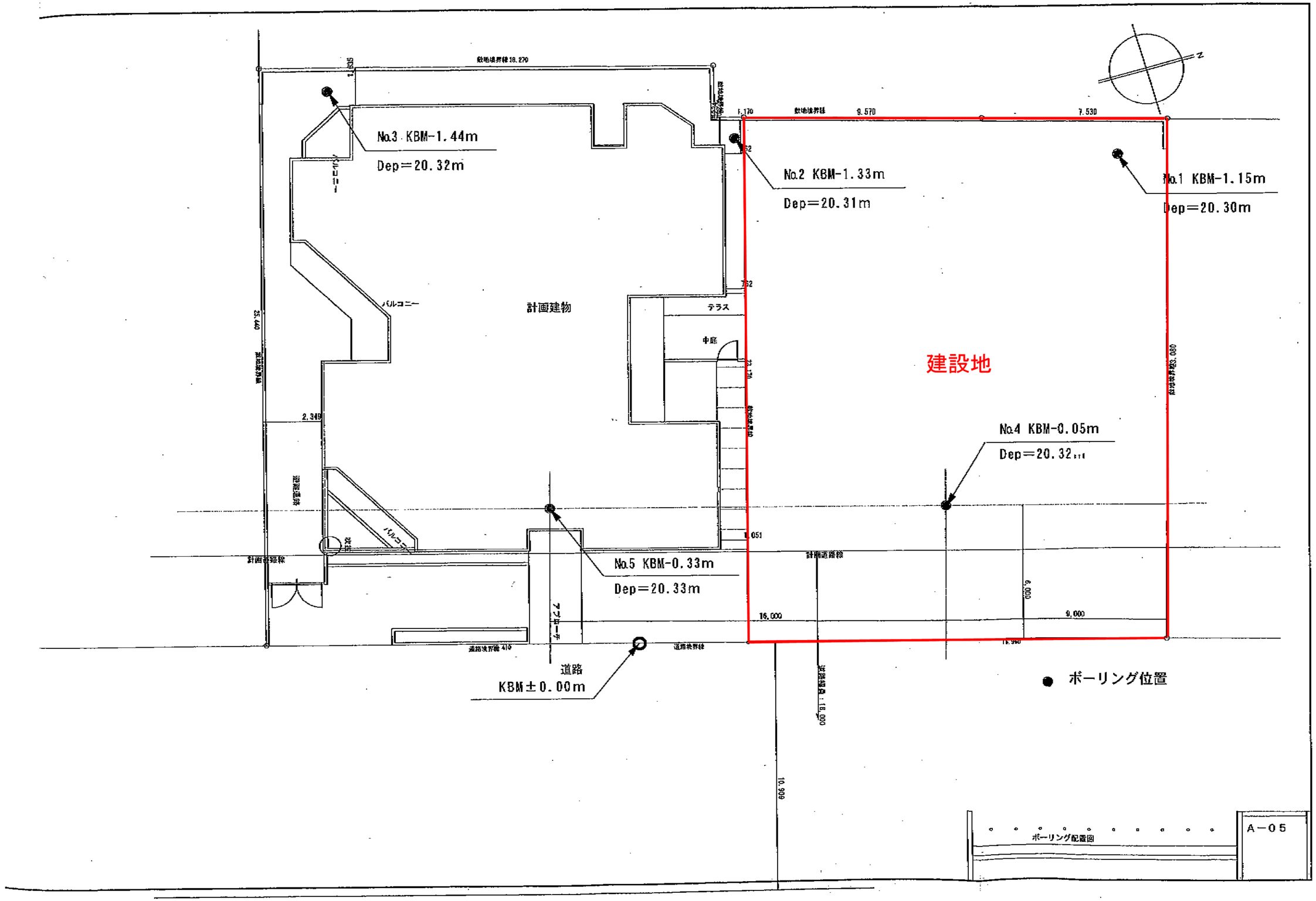
No.3 KBM-1.44m
Dep=20.32m
No.2 KBM-1.33m
Dep=20.31m
No.1 KBM-1.15m
Dep=20.30m
No.4 KBM-0.05m
Dep=20.32m
No.5 KBM-0.33m
Dep=20.33m
道路
KBM±0.00m
計画建物
バルコニー
テラス
中庭
建設地
計画道路線
16,000
9,000
6,000
ボーリング位置
ボーリング配置図
A－05

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.										

シートNo.

ボーリング名	No. 1			調査位置	東京都世田谷区					北緯	
発注機関						調査期間	平成 17年 5月 23日 ～ 17年 5月 24日			東経	
調査業者名				主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	KBM -1.15m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM-05DA	ハンマー落下用具	コーンプーリー
総掘進長	20.30m								エンジン	NFD-8-HK	ポンプ	V5-P

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	-2.95	1.80	1.80		盛土	茶褐			粘土・ロームを主体とする盛土。
2	-3.75	0.80	2.60		黒ボク	黒灰		軟らかい	黒ボクを主体とし、植物根を混入。
3	-4.65	0.90	3.50		ローム	茶褐			スコリア少量混入する。粘性有り。
4	-7.55	2.90	6.40		シルト質粘土	黒灰～茶褐		非常に軟らかい～軟らかい	色調一定せず。暗褐の粘土を帯状に薄く狭在。含水多い。
7	-9.05	1.50	7.90		粘土	暗茶褐		中位の	砂を極少量混入。色調一定せず、含水中位。
8	-12.05	3.00	10.90		粘土	茶褐		軟らかい	暗緑の粘土薄く挟む。色調一定せず。10.40～10.60mまで礫混じりの細砂薄く挟む。
11	-14.85	2.80	13.70		砂礫	茶褐	密な		φ2～35mm程度の亜円礫主体。所々に粘土を少量混入。11.45～11.60mまで粘土を挟む。含水中位～多い。
14	-15.75	0.90	14.60		微細砂	黄灰	非常に密な		粒子均一、やや粘性有り。硬質粘土を薄く挟む。
15	-21.45	5.70	20.30		土丹	暗緑灰		固結した	全体に棒状コアとなる。所々砂(5～10cm程度)挟む。砂分少量含む。含水小位。

孔内水位(m)／測定月日：5/24 3.30

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	1		2/30	2
1.45					
2.15	1	1	1	3/30	3
2.45					
4.15	1	1		2/30	2
4.45					
5.15	1			1/30	1
5.45					
6.15	1			1/30	1
6.45					
7.15	1	2	3	6/30	6
7.45					
8.15	1	1	2	4/30	4
8.45					
9.15	1	1	1	3/30	3
9.45					
10.15	1	1	1	3/30	3
10.45					
11.15	9	12	16	37/30	37
11.45					
12.15	10	11	13	34/30	34
12.45					
13.15	10	13	16	39/30	39
13.45					
14.15	18	22	10/2	50/22	68.2
14.37					
15.15	21	29		50/20	75
15.35					
16.15	27	23/7		50/17	88.2
16.32					
17.15	25	25/8		50/18	83.3
17.33					
18.15	29	21/6		50/16	93.8
18.31					
19.15	26	24/7		50/17	88.2
19.32					
20.15	31	19/5		50/15	100
20.30					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
3.00	1-1	①
3.60		

室内試験（　）

掘進月日：5/23　5/24

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.										

シートNo.

ボーリング名	No. 2	調査位置	東京都世田谷区							北緯	
発注機関				調査期間	平成 17年 5月 24日 ～ 17年 5月 25日					東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者				ボーリング責任者	
孔口標高	KBM −1.33m	角度 180°上 90° 下 0°	方向 北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM−05DA	ハンマー落下用具	コーンプーリー	
総掘進長	20.31m						エンジン	NFD−8−HK	ポンプ	V5−P	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	−2.93	1.60	1.60		埋土	茶褐			粘土・ロームを主体とする盛土。
2	−4.03	1.10	2.70		ローム	茶褐		非常に軟らかい	スコリア少量混入する。粘性有り。
3	−7.13	3.10	5.80		シルト質粘土	黒灰～暗灰		非常に軟らかい	色調一定せず。4.00m付近より暗灰のシルト質粘土となる。含水多い。
6	−8.03	0.90	6.70		粘土	茶褐		中位の	暗褐の粘土多量混入する。含水多い。
7	−9.83	1.80	8.50		粘土	黄褐		中位の	暗褐色の粘土少量混入。色調一定せず。砂子極少量混入。含水中位。
9	−11.23	1.40	9.90		粘土	茶褐		軟らかい	色調一定せず。含水中位。腐植物極少量混入。
10	−12.23	1.00	10.90		砂質粘土	暗青灰		硬い	細砂を互層状に薄く狭在。小礫極少量混入。含水中位。
11	−12.83	0.60	11.50		礫混じり細砂	黄褐	緩い		粘土多量混入。含水多い。
12	−14.93	2.10	13.60		砂礫	茶褐	密な		φ2～35mm程度の亜円礫主体。所々に粘土を少量混入。13.40m付近より礫径大きくなる。含水中位～多い。
14	−15.83	0.90	14.50		微細砂	黄灰	非常に密な		粒子均一、やや粘性有り。硬質粘土を薄く不規則に狭在する。
17	−21.64	5.81	20.31		土丹	暗緑灰		固結した	全体に棒状コアとなる。所々砂(5～10cm程度)挟む。砂分少量含む。含水小位。

孔内水位(m)／測定月日: 5/25 3.00

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	1	3/30	3
1.45 / 2.15	1/20	1/15		2/35	1.7
2.50 / 3.15	1/30			1/30	1
3.45 / 4.15	1/37			1/37	0.81
4.52 / 5.15	モンケン自沉			0/30	(0)
5.45 / 6.15	1/15	1/15		2/30	2
6.45 / 7.15	2	2	3	7/30	7
7.45 / 8.15	1	2	3	6/30	6
8.45 / 9.15	1	1	2	4/30	4
9.45 / 10.15	4	5	5	14/30	14
10.45 / 11.15	3	3	4	10/30	10
11.45 / 12.15	9	13	11	33/30	33
12.45 / 13.15	10	12	15	37/30	37
13.45 / 14.15	17	20	13/3	50/23	65.2
14.38 / 15.15	22	28/9		50/19	78.9
15.34 / 16.15	24	26/8		50/18	83.3
16.33 / 17.15	26	24/7		50/17	88.2
17.32 / 18.15	25	25/8		50/18	83.3
18.33 / 19.15	30	20/5		50/15	100
19.30 / 20.15	28	22/6		50/16	93.8
20.31					

N値 0 10 20 30 40 50

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験(　)	掘進月日
						5/24
						5/25

ボーリング柱状図

調　査　名

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 3	調査位置	東京都世田谷区			北　緯	
発注機関				調査期間	平成 17年 5月 26日 ～ 17年 5月 27日	東　経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	KBM −1.44m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM−05DA	ハンマー落下用具	コーンプーリー
総掘進長	20.32m								エンジン	NFD−8−HK	ポンプ	V5−P

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
					埋土	茶褐			上部コンクリートガラ多量混入。ロームを主体とする盛土。
	−4.04	2.60	2.60						
					黒ボク	黒灰		非常に軟らかい	黒ボク土を主体とし、植物根を混入。
	−5.14	1.10	3.70						
					凝灰質粘土	茶褐		非常に軟らかい	スコリア少量混入。含水多い。
	−7.14	2.00	5.70						
					粘土	黄褐		中位の	暗褐色の粘土少量混入。色調一定せず。含水多い。
	−9.94	2.80	8.50						
					砂質粘土	暗灰褐		軟らかい	所々細砂多量に混入。含水中位。
	−11.04	1.10	9.60						
					粘土	黄灰		硬い	全体に砂を多量に混入。含水多い。
	−11.74	0.70	10.30						
					砂礫	茶褐	密な		上部粘土多量に混入。φ2～35mm程度の亜円礫主体。所々に粘土を少量混入。10.90～11.20mまで硬質粘土挟む。
	−14.99	3.25	13.55						
					硬質粘土	黄灰	非常に密な		14.50～14.90mまで砂挟む。全体に砂分少量含む。含水小位。
	−16.34	1.35	14.90						
					土丹	暗緑灰		固結した	全体に棒状コアとなる。所々砂(5～10cm程度)挟む。砂分少量含む。含水小位。
	−21.76	5.42	20.32						

孔内水位(m)／測定月日：5/27 2.85

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	1	1	3/30	3
1.45 / 2.15	1	1	1	3/30	3
2.45 / 3.15	1/20	1		2/30	2
3.45 / 4.15	1/32			1/32	0.94
4.47 / 5.15	1/35			1/35	0.86
5.50 / 6.15	1/34			1/34	0.88
6.49 / 7.15	1/30			1/30	1
7.45 / 8.15	1/20	1/20		2/40	1.5
8.55 / 9.15	3	4	5	12/30	12
9.45 / 10.15	1	5	11	17/30	17
10.45 / 11.15	7	10	12	29/30	29
11.45 / 12.15	12	17	12	41/30	41
12.45 / 13.15	11	13	14	38/30	38
13.45 / 14.15	10	16	24/9	50/29	51.7
14.44 / 15.15	21	29/9		50/19	78.9
15.34 / 16.15	25	25/8		50/18	83.3
16.33 / 17.15	27	23/7		50/17	88.2
17.32 / 18.15	24	26/8		50/18	83.3
18.33 / 19.15	28	22/6		50/16	93.8
19.31 / 20.15	26	24/7		50/17	88.2
20.32					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：5/26、5/27

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.										

シートNo.

ボーリング名	No. 4			調査位置	東京都世田谷区					北緯	
発注機関						調査期間	平成 17年 6月 8日 ～ 17年 6月 9日			東経	
調査業者名				主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	KBM −0.05m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM−05DA	ハンマー落下用具	コーンプーリー
総掘進長	20.32m								エンジン	NFD−8−HK	ポンプ	V5−P

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	−1.65	1.60	1.60		埋土	暗灰			瓦礫混じりの粘土主体。	
2 3 4 5	−5.95	4.30	5.90		ローム	茶褐		軟らかい	全体にスコリア等の火山砕屑物を少量混入する。	6/8 3.10
6 7	−7.45	1.50	7.40		粘土	灰褐		軟らかい	暗褐の粘土少量混入する。粘性強い。	
8	−8.25	0.80	8.20		粘土	淡青灰			細砂少量混入する。	
9 10	−10.55	2.30	10.50		粘土混じり細砂	黄褐	緩い		所々粘土を薄く不規則に挟む。含水多い。	
11	−11.95	1.40	11.90		砂混じり粘土	黄褐		中位の	11.50～11.90mまで砂挟む。含水中位。	
12 13 14	−14.80	2.85	14.75		砂礫	茶褐	中位の～密な		φ2～35mm程度の亜円礫主体。所によりφ70mm程度の礫混入。12.50m付近まで粘土多量混入。含水中位～多い。	
15	−15.35	0.55	15.30		硬質粘土	黄灰		固結した	全体に砂分少量含む。含水小位。	
16 17 18 19 20	−20.66	5.13	20.33		土丹	暗緑灰		固結した	全体に棒状コアとなる。所々砂(5～10cm程度)挟む。全体に砂分少量含む。含水小位。	

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1		2/30	2
1.45 2.15	1	1		2/30	2
2.45 3.15	1	1	1	3/30	3
3.45 4.15	1	1	1	3/30	3
4.45 5.15	1	1	2	4/30	4
5.45 6.15	1	1		2/30	2
6.45 7.15	1	1		2/30	2
7.45 8.15	1	2	2	5/30	5
8.45 9.15	2	2	3	7/30	7
9.45 10.15	2	2	2	6/30	6
10.45 11.15	1	2	2	5/30	5
11.45 12.15	5	6	9	20/30	20
12.45 13.15	12	15	13	40/30	40
13.45 14.15	10	11	15	36/30	36
14.45 15.15	17	21	12/2	50/22	68.2
15.37 16.15	22	28/9		50/19	78.9
16.34 17.15	28	22/8		50/16	93.8
17.31 18.15	27	23/7		50/17	88.2
18.32 19.15	26	24/7		50/17	88.2
19.32 20.15	25	25/8		50/18	83.3
20.33					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
						6/8 6/9

ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNo.										

シートNo.

ボーリング名	No. 5			調査位置	東京都世田谷区					北緯	
発注機関						調査期間	平成 17年 6月 9日 ～ 17年 6月 10日			東経	
調査業者名				主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	KBM −0.33m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM−05DA	ハンマー落下用具	コーンプーリー
総掘進長	20.33m								エンジン	NFD−8−HK	ポンプ	V5−P

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
					埋土	暗茶褐			瓦礫混じりの粘土主体。
	−2.28	1.95	1.95						
					ローム	茶褐		軟らかい	全体にスコリア等の火山砕屑物を少量混入する。含水中位。
	−5.33	3.05	5.00						
					粘土	灰茶		非常に軟らかい～軟らかい	上部乳灰色の粘土薄く挟む。暗褐の粘土少量混入する。粘性強い。
	−7.13	1.80	6.80						
					粘土	淡青灰		軟らかい	細砂極少量混入する。
	−8.13	1.00	7.80						
					粘土混じり細砂	黄褐	緩い		所々粘土を薄く不規則に挟む。含水多い。
	−9.83	1.70	9.50						
					砂混じり粘土	黄褐		中位の～硬い	所々細砂多量に混入。含水中位。
	−11.73	1.90	11.40						
					砂礫	茶褐	中位の～密な		φ2～35mm程度の亜円礫主体。所によりφ60mm程度の礫混入。所々に砂・粘土多量混入。含水中位～多い。
	−14.88	3.15	14.55						
	−15.53	0.65	15.20		硬質粘土	黄灰			全体に砂分少量含む。含水小位。
					土丹	暗緑灰		固結した	全体に棒状コアとなる。所々砂(5～10cm程度)挟む。全体に砂分少量含む。含水小位。
	−20.66	5.13	20.33						

孔内水位(m)／測定月日: 6/10 2.00

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	1	3／30	3
1.45					
3.15	1	1	1	3／30	3
3.45					
4.15	1	1	2	4／30	4
4.45					
5.15	1／20	1／20		2／40	1.5
5.55					
6.15	1／15	1／15		2／30	2
6.45					
7.15	1	1	1	3／30	3
7.45					
8.15	3	3	4	10／30	10
8.45					
9.15	2	3	4	9／30	9
9.45					
10.15	1	1	2	4／30	4
10.45					
11.15	1	1	7	9／30	9
11.45					
12.15	7	10	7	24／30	24
12.45					
13.15	9	10	11	30／30	30
13.45					
14.15	10	9	13	32／30	32
14.45					
15.15	19	21	10／1	50／21	71.4
15.36					
16.15	24	26／8		50／18	83.3
16.33					
17.15	28	22／6		50／16	93.8
17.31					
18.15	27	23／7		50／17	88.2
18.32					
19.15	26	24／7		50／17	88.2
19.32					
20.15	25	25／8		50／18	83.3
20.33					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
2.00	5-1	⑦
2.60		

室内試験（　）: 物理 三軸(UU)

掘進月日: 6/8